平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 01
 02
 01

 細事業名
 消防本部総務業務

担当部局 消防本部 担当課等 担当課長の氏名 総務課 河野矢 秀 担当者の氏名 松本 隆雄 整理番号 36-1

総合計画 計画項目 (施策)	PLAN	基本方針	(政策)	VI うるおい安全都市			松本隆雄
施策方針 1 常備消防体制の強化 1 常備消防体制の強化 1 常備消防体制の強化 (どのような目 消防業務の企画・調整及び施設の管理、職員の被服等貸与品並びに安全管理等 平成26年度までに、どの	総合計画 (前期其末計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化			
1、一类,一类,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,	(前别圣本时四)	施策方針		1 常備消防体制の強化	1 常備消防体制	の強化	
	事業の目的	的で事業を実	消防業務の金を行い、消防職	と画・調整及び施設の管理、職員の被服等貸与品並びに安全管理 職員の規律と士気、体力の維持向上に努める。	等 平成26年度 事業の効果目		

DO		
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防の義務として、消防体制に不具合が なに適切な総務業務を行なった。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どがあったか。で 数値で記入)	

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている 市民の安心・安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防体制 (少しできていない) に不具合が生じないよう、常に適切な総務業務を行った。 × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった H20年度10,639千円 H21年度9,425千円 ▲1,214千円減額(▲ ▲ 少し削減の余地があった 0 理由 11.4%) 新型インフルエンザ予防接種料等の職員の衛生管理に対す × 削減の余地があった る経費が増加するなか、経費縮減に努めた。

ACTION				
ACTION	事業に	内容の方向性		
		A 現状維持		ナロのウン・ウムに支持をおり 005日04時間は生の労働等所は生
	Α	B 内容の見直し	理由	市民の安心・安全に直接繋がる、365日24時間体制の常備消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な総務業務を行なっていく。
改善改善		C 統廃合·休止·終了		101 天日70 工じるがるり、南下に歴動を配動大切と目をラビが、
以音	事業	現模の方向性		
	A 事業拡大			今後、地区が過疎・高齢化し、業務が高度、専門化してゆくなかで、
	В	B 現状維持	理由	365日24時間体制の常備消防の業務は増加してゆくと思われます。そ
		C 事業縮小		の体制を運用維持することは必要です。

	●「然と「干及次	7									
	į	歳出			歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
Ы		9	381		国庫支出金						
		10 41		府支出金							
		11	5,276	財	起債						
	予算科目	12	1,652	源内	分担金·負担金						
		13	928	訳	その他						
		14	716								
		19 431									
					一般財源		9,425				
	事業費合計		9,425		合計		9,425				

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 01
 03
 01

 細事業名
 救急救命士養成業務

担当部局 消防本部 担当課等 担当課長の氏名 総務課 河野矢 秀 担当者の氏名 松本 隆雄 整理番号 36-2

_	PLAN -								担当有の氏石	1
		基本方針	(政策)	VI うるおい安全都市					松本 隆雄	
	総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化						
	(間)初至平間日/	施策方針		1 常備消防体制の強化	1 5	常備消防体制の	強化			
		(どのような目	大切な命を救	なうための救急業務は、平成3年の救済	急救命士制度の発足により、飛	亚芹亚东南	(平成26年度までに、どの	救急救命士	が、常時救急車に乗車して活動を	行うために20人以上を必要とし、
	事業の目的	的で事業を実		ものとなっています。市民の救急救命			ような効果をだすか。でき	計画的に養成	していく必要がある。	

1

用をおこなうために20人以上を必要とし、計画的な養成を必要とする。

施するか)

DO -		
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 救急救命士: 何をしたか) 修を依頼した。	を計画的に養成するために、
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果 があったか。できるだけ指標と 数値で記入)	新規救急救命士養成1人、薬剤投与追加講習1人、気管挿管薬剤投与他講習1人

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) 新規救急救命士養成1人、薬剤投与追加講習1人、気管挿管薬剤投 ▲ 少し遅れている 0 理由 与講習1人 今年度も救急救命士を1人新規養成し、現在16人になった (少しできていない) が、退職等により昨年より1人減員である。 × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった 救急救命士が常時救急車に乗車し救急救命処置活動をするために ▲ 少し削減の余地があった 0 理由 20人以上が必要である。現在16人なので今後も計画的に新規養成し × 削減の余地があった ていく必要がある。

			<u> </u>
事業に	内容の方向性		
	A 現状維持		
Α	B 内容の見直し	理由	最低限、毎年1人の計画的な養成が必要。
	C 統廃合·休止·終了		
事業	規模の方向性		
A 事業拡大 B 現状維持			
		理由	複数名の養成が望ましいが、職員数から難しい。
	C 事業縮小		
	A 事業	A B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持	A 現状維持 理由 C 統廃合・休止・終了 事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 理由

●平成21年度決算

るだけ指標と数値で記入)

	●十成乙十千及人	7 -								
I	į	裁出			歳入					
ĺ		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
ı		9	973		国庫支出金					
I		13	440		府支出金					
ı		19	3,145	財	起債					
ı	予算科目			源内	分担金·負担金					
ı				訳	その他					
I										
I										
ı					一般財源		4,558			
ĺ	事業費合計		4,558		合計		4,558			

会計名称 事業 細事業 款 項 目 平成21年度予算 一般会計 01 02 09 01 03 細事業名 消防学校等研修派遣業務

担当部局 消防本部 担当課等 担当課長の氏名 河野矢 秀 総務課 担当者の氏名 松本 隆雄

整理番号 36-3

PLAN								
	基本方針	(政策)	VI	うるおい安全都市				
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	8	消防・防災体制の強化				
(III)ME-T-III	施策方針		1	常備消防体制の強化	1	常備消防体	制の強	化

(どのような目 複雑多様化する消防業務に対応するため、あらゆる場面を想定した災害・救助、 的で事業を実 |救急訓練、研修等に参加し、最先端の高度・専門技能や知識を学ぶことで、職員の 施するか) 資質向上とあわせ、安全・安心なまちづくりを目指す。

平成26年度

(平成26年度までに、どの 事業の効果目標 るだけ指標と数値で記入) ような効果をだすか。でき

あらゆる場面を想定した災害・救助・救急訓練、研修等に参加し、最先端の高 度な専門技能や知識を学ぶことで、職員の資質向上とあわせ、安全・安心な まちづくりを目指す。

\circ			

事業の目的

ACTION

改善

B B 現状維持

C 事業縮小

DO 平成21年度 (何を対象に、 消防職員を対象に、京都府立消防学校等が計画する講習会や研修会に参加した。 事業の実績 何をしたか) 広い見識と専門知識を持った消防職員を養成することで災害対応能力が向上した。 (実績により、どのような効果 平成21年度 があったか。できるだけ指標と 事業の効果 数値で記入)

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) 職員の資質を向上させるため、災害・救助救急訓練、教育研修等に ▲ 少し遅れている 0 (少しできていない) 現場人員をやりくりしながら、研修等へ派遣することができた。 × 遅れている(できていない) 評価

効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

	〇 削減の余地がなかった				
0	▲ 少し削減の余地があった	理由	H20年度4,198千円 H21年度3,698千円 ▲500千円減額(▲11.9 職員の資質を向上させるため、災害・救助救急訓練等に参加するこ		
	× 削減の余地があった		は必要であるが、経費の縮減を図った。		
			· · · · · · · · · · · · · · · ·		

もっと多様な研修派遣が望ましいが、現場職員数から難しい。

事業内容の方向性						
	A 現状維持					
Α	B 内容の見直し	理由	現在程度の計画的な養成が必要。			
	C 統廃合·休止·終了					
事業規模の方向性						
	A 事業拡大					

	●十成乙十千及人	//								
	j	裁出			歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)			
Ы		9	1,909		国庫支出金					
1		13	15		府支出金					
		14	128	財	起債					
	予算科目	19	1,646	源内訳	分担金·負担金					
					その他					
					一般財源		3,698			
	事業費合計		3,698		合計		3,698			

会計名称 款 項 目 事業 細事業 平成21年度予算 一般会計 09 01 01 01 04 予防啓発業務 細事業名

担当部局 消防本部 担当課等 担当課長の氏名 総務課 河野矢 秀 担当者の氏名

整理番号 36-4

PLAN 総合計画	基本方針計画項目		VI うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化			松本 隆雄
(前期基本計画)	施策方針	(旭泉)	1 常備消防体制の強化 1	常備消防体制	の強化	
	(どのような目的で事業を実施するか)	行い、事業所等	チラシ、ポスターの作成配布、防火講習会の開催などの啓発事業を 等への立ち入り検査、指導体制を推進する。 警報器設置を推進する。	平成26年原 事業の効果日		

DO 市民を対象に、火災予防のチラシ、ポスターの作成配布、防火講習会の開催などの啓発活動をおこ 平成21年度 (何を対象に、 なった。事業所等への立ち入り検査、指導を推進した。住宅用火災警報器の設置推進に向けて各地 事業の実績 何をしたか) 区で説明会を開催した。 (実績により、どのような効果 平成21年度 があったか。できるだけ指標と 事業の効果

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている)

数値で記入)

評価

▲ 少し遅れている 火災発生件数 (H19 24件、H20 18件、H21 12件)と減少してきて 0 (少しできていない) × 遅れている(できていない)

ľ	刘平 1	生・・・DO(平成21年度事業の美領	, କବା	いは効果バン対して、コスト削減の未地がなかったか
I		〇 削減の余地がなかった		
ı	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	火災発生件数は毎年減少しているが、市民の防災意識が高まり啓蒙
		× 削減の余地があった	性田	活動への要望も増えている。
ı			i	

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持						
改善	Α	B 内容の見直し	理由	多種多様な媒介を利用して広報を行う必要があるが、やはり集会や 行事に参加して対面指導が必要であり、継続が必要である。				
		C 統廃合·休止·終了		コチークが20での国际中でを交叉である。				
以告	事業規模の方向性							
		A 事業拡大						
	Α	B 現状維持	理由	今後も多種多様な媒介を利用して広報を行う必要がある。				
		C 事業縮小						

	●「然と「干及人	7 1-							
	Ī	歳出			歳入				
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)		
١		8	80		国庫支出金				
		11	560		府支出金				
	予算科目	16	89	財	起債				
				源内	分担金・負担金				
				訳	その他				
					一般財源		729		
	事業費合計		729		合計		729		

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 01
 05
 01

 細事業名
 救急活動業務

担当部局 消防本部 担当課等 担当課長の氏名 総務課 河野矢 秀 担当者の氏名 松本 隆雄 整理番号 36-5

PLAN 総合計画	基本方針計画項目		VI うるおい安全都市 ⑧ 消防・防災体制の強化			松本 隆雄	
(前期基本計画)	施策方針	(100%)	1 常備消防体制の強化	常備消防体制	制の強化		
			なうため、救急資機材の整備及び職員の資質の向上に努めるととも 」や「応急手当の実施」など市民の方にも協力をお願いし、安心して なくりを目指す。				

DO			_
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	市民の生命・身体・財産を守り、安全、安心の京丹後市をつくるため、365日24時間体制で救急要請 を受け、出動し活動した。 救急出動件数は、(H19 2,296件、H20 2,173件、H21 2,187件)	
平成21年度 事業の効果	(実績により、ど があったか。でる 数値で記入)		

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている 365日24時間体制で救急要請を受け、出動活動を行った。 理由 (少しできていない) × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった H20年度5,542千円 H21年度5,486千円 ▲56千円減額(▲1.0%) C ▲ 少し削減の余地があった 0 伴い使い捨てしなければならない救急消耗品経費が増加したが、事業 × 削減の余地があった 経費が増加しないよう縮減に努めた。

ACTION				
AOTION	事業	内容の方向性		
		A 現状維持		
	Α	B 内容の見直し	理由	救急出動という住民ニーズに対応する必要がある。
改善		C 統廃合·休止·終了		
以古	事業	規模の方向性		
		A 事業拡大		1.55
	Α	B 現状維持	理由	ドクターへリ導入等、今後ますます高度な救命救急体制の充実が望 まれる。
		C 事業縮小		0.1000

	●「然と「干及人								
	į	歳出		歳入					
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)		
b		11	2,564		国庫支出金				
1		13	2,459		府支出金				
		18	239	財	起債				
	予算科目		225	源 内 訳	分担金•負担金				
					その他				
					一般財源		5,487		
	事業費合計		5,487		合計		5,487		

 平成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 01
 05
 02

 細事業名
 救急啓発業務

担当部局 消防本部 担当課等 担当課長の氏名 総務課 河野矢 秀 担当者の氏名 整理番号 36-6

PLAN							担当省の以石	
	基本方針	(政策)	VI うるおい安全都市				松本 隆雄	
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化					
(11979) - 1-11-11-17	施策方針		1 常備消防体制の強化 1	常備消防体	制の強化			
	(どのような目	大切な命を救	救うため、救急資機材の整備及び職員の資質の向上に努めるととも	TI CT OCC	で成26年度までに、どの	救命啓発活動	かは、市民の生命身体を守ることに直接繋がるので、さらに	
事業の目的			と」や「応急手当の実施」など市民の方にも協力をお願いし、安心して	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		活動を充実し	てゆく。	
	施するか)	暮らせるまちて	いないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		^{トロ1宗} るだけ指標と数値で記入)	普通救急講習	冒受講者(3時間) 700人 救マーク認定事業所 100事業所	

DO	T	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	率を上げるために救命講習を行い、救命技術を積極的に普及させた。上級救急救命講 常駐する事業所を「救マーク認定事業所」として認定した。
平成21年度 事業の効果	(実績により、とがあったか。で	普通救急講習受講者(3時間) 699人(全受講者2,868人) 講習会開催回数数 96回 救マーク新規認定事業所 12事業所(総事業所数96事業所)
	数値で記入)	

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) 救急救命活動は、市民の生命・身体を守ることに直接繋がる活動で ○ ▲ 少し遅れている 学校等から依頼のある一般救命講習(1時間)も日程調整に苦慮した状 (少しできていない) 況であった。 × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 市民の防災意識の高まりにより、救命啓発活動の要望が増えてきて 0 理由 いる状況である。 × 削減の余地があった

	ACTION				<u> </u>					
I	ACTION	事業内容の方向性								
			A 現状維持		4. 今 - **					
		Α	B 内容の見直し	理由	救命講習会がすぐに定員に達しているが、さらに機会を捉えて普通 救命講習(3時間)修了者を増やす必要がある。					
	改善		C 統廃合·休止·終了		次即時日(四月日)19日で日(「チングタル・の)。					
	以音	事業規	現模の方向性							
ı			A 事業拡大							
ı	B 現状維持		理由	回数を増やすことは、職員派遣の面から厳しくなっているので、1時間の一般講習から3時間の普通救命講習に移行していく必要がある。						
			C 事業縮小		の					

	●十成乙十千及人	7 -									
	j	裁出			歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)				
М		11	218		国庫支出金						
1		18	733		府支出金						
				財	起債						
	予算科目			源内	分担金·負担金						
				訳	その他	日本防火協会助成	60				
					一般財源		891				
	事業費合計		951		合計		951				

 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 01
 06
 01

 細事業名
 通信指令施設維持管理業務

担当部局 消防本部 担当課等 担当課長の氏名 総務課 河野矢 秀 担当者の氏名 松本 隆雄 整理番号 36-7

PLAN 総合計画	基本方針		VI うるおい安全都市			松本隆雄
(前期基本計画)	計画項目 施策方針	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化 1 1 常備消防体制の強化 1	常備消防体制	制の強化	
	(どのような目 的で事業を実 施するか)	通信指令業務 支援を行うなど	めは、火災・救急等の通知を受けてから、出動を指令し、現場の活動 、受信から事業終了までを迅速・的確に行うことが求められている。	平成26年原 事業の効果	度 目標 はうな効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	

DO		
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、よ	京丹後市民に、365日24時間体制の常備消防の義務として、通信指令システムに不具合が生じないう、常に適切な保守管理や整備を行うことで、災害時の対応に万全を期し、市民の生命・身体・財産守り、安心安全なまちづくりを行った。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どの があったか。できる 数値で記入)	

CHECK 目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 〇 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている 365日24時間体制の119番施設の適切な運用維持を行った。 理由 (少しできていない) 119番受信件数 3,406件 × 遅れている(できていない) 評価 効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 平成13年に整備したコンピュータシステムが整備後7年を経過し、経 0 年劣化による修繕、部品交換は毎年避けられない。 × 削減の余地があった

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持		客后数明点&法信人人				
改善	Α	B 内容の見直し	理由	通信機器の発達に合わせた機器整備が必要となるが、当面維持保守に努めて現状維持とする。				
		C 統廃合·休止·終了		(1) (2) (3) (3) (7) (7) (7) (7)				
以音	事業規模の方向性							
		A 事業拡大		这是她的 6 80 生后 6 4 11 4 数的数件 6 2 至 1 4 7 6 3 以 7 级 4 7 0				
	В	B 現状維持	理由	通信機器の発達に合わせた機器整備が必要となるが、当面維持保 守に努めて現状維持とする。				
		C 事業縮小		(引に)なりてもにの作品(引に)がある				

1														
	j	歳出		歳入										
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)							
١		8	38		国庫支出金									
'		11	4,314		府支出金									
		12	4,579	財	起債									
	予算科目	13	12,369	源内	分担金·負担金									
		18	0	訳	その他									
				一般財源		21,300								
	事業費合計		21,300		合計		21,300							

 中成21年度予算
 会計名称
 款
 項
 目
 事業
 細事業

 一般会計
 09
 01
 01
 07
 01

 細事業名
 庁舎等維持管理業務

担当部局 消防本部 担当課等 担当課長の氏名 総務課 河野矢 秀 担当者の氏名 松本 隆雄 整理番号 36-8

- PLAN								担当有の氏石	
	基本方針	(政策)	VI うるおい安全都市					松本 隆雄]
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防災体制の強化						
(1970)至开山口/	施策方針		1 常備消防体制の強化	1	常備消防体制の)強化			
	内で争未を天 体オるか)	境づくりと適切 で活躍する車	な施設修繕等を行う必要がある。	就業する施設であり、適切な職場環また、消防車両は火災現場の一線に確保できるよう保守整備に努め、	平成26年度	(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき るだけ指標と数値で記入)			
	•	•	·			·	•	·	

DO		•
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、 何をしたか)	本部訓練等庁舎・網野・久美浜・竹野川庁舎、指令車・救急車化学消防ポンプ・救助工作車ほか計 18台 365日24時間体制の常備消防の義務として、消防体制に不具合が生じないよう、常に適切な保守管理や整備を行うことで、災害時の対応に万全を期し、市民の生命・身体・財産を守り、安心安全のまちづくりを行った。
	(実績により、と があったか。で 数値で記入)	どのような効果 きるだけ指標と

CHECK				
	目標	達成度・・・DO(平成21年度事業の 効果目標)の達成に向け		あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 間に進捗したか
		〇 進捗している(できている)		
	0	▲ 少し遅れている (少しできていない)	理由	常備消防の運用維持のため、消防庁舎や消防車両を常に適切な保 守管理や修繕整備を行った。
評価		× 遅れている(できていない)		
	効率	性・・・DO(平成21年度事業の実績	ハは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
		〇 削減の余地がなかった		
	0	▲ 少し削減の余地があった	理由	H20年度20,459千円 H21年度16,764千円 ▲3,695千円減額(▲
		× 削減の余地があった	在四	18.1%) 燃料費、光熱費、修繕料等の経費縮減に努めた。

ACTION								
ACTION	事業内容の方向性							
		A 現状維持		ナロのウンウムに本位数が7.当供沙叶の実用がサナスため、当に				
	Α	B 内容の見直し	理由	市民の安心安全に直接繋がる常備消防の運用維持するため、常に				
改善改善		C 統廃合·休止·終了		2576W 1 1 2 1 1 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
ᇇᆷ	事業規模の方向性							
		A 事業拡大		十日のウミウ人に主体軟 /3.7.4.4.3.4.4.7.4.4.3.4.4.4.4.4.4.4.4.4.				
	Α	B 現状維持	理由	市民の安心安全に直接繋がる常備消防の運用維持するため、常に				
		C 事業縮小		ZENOVEL A TENUCIANO CONTRACTOR CO				

	j	歳出				歳入						
		節	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)					
ŀ		11	14,657		国庫支出金							
		12	904		府支出金							
		13	387	財	起債							
	予算科目	14	318	源内訳	分担金・負担金							
		18	19		その他							
		27	479									
					一般財源		16,764					
	事業費合計		16,764		合計		16,764					

会計名称 事業 細事業 款 項 B 平成21年度予算 一般会計 09 01 03 01 細事業名 常備消防施設等整備事業

担当部局 消防本部 担当課等 担当課長の氏名 総務課 河野矢 秀 担当者の氏名

整理番号 36-9

PLAN -									-
	基本方針	(政策)	Ⅵ うるおい	安全都市					
総合計画 (前期基本計画)	計画項目	(施策)	⑧ 消防・防	5災体制の強化					
(BayME-1-H1E)	施策方針		1 常備消防	5体制の強化			1	常備消防体	制の強
	(どのような目	沙叶丰王4.1	・	・ル巛田坦の笠	始まに聞きてものまたり	7 A ###		TI # 00 /T	- #

強化 平成26年度

消防車両などの資機材は、火災現場の第一線で活躍するものであり、その機能・ 安全性が常に確保できるよう整備に努め、災害対応に万全を期する。

(平成26年度までに、どの ような効果をだすか。でき 事業の効果目標 るだけ指標と数値で記入) 消防体制に不具合が生じないよう、消防車両や救命処置用資機材の整備や 更新を行うことで、市民の生命身体財産を守り、安心安全なまちづくりをおこなう。

松本 隆雄

DO

(何を対象に、 平成21年度 事業の実績 何をしたか)

事業の目的

指令車・救急車・化学消防ポンプ・救助工作車及び資機材に365日24時間体制の常備消防の義務と して、消防体制に不具合が生じないよう、整備や更新を行うことで、災害時の対応に万全を期し、市民 の生命・身体・財産を守り、安心安全のまちづくりをおこなった。

(実績により、どのような効果 平成21年度 事業の効果 数値で記入)

的で事業を実

施するか)

高規格消防自動車1台 高度救命処置用資機材整備

があったか。できるだけ指標と
市民の安心安全に直接繋がる消防車両等の資機材の整備更新をおこなった。

CHECK

目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の 効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか

びきないる(できている) ▲ 少し遅れている 0 (少しできていない)

今年度は、老巧化した救急車1台の更新や高度救命処置機材の整備 理由 を行った。

× 遅れている(できていない)

効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか

〇 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 0 × 削減の余地があった

365日24時間の常備消防体制に不具合を生じさせないよう、計画的に 消防車両や救命処置用資器材の更新や整備を必要とします。

ACTION

改善

評価

A 現状維持 A B 内容の見直し C 統廃合·休止·終了

消防車両や救命処置用資機材の整備や更新を行うことで、市民の生 理由 命身体財産を守り、安心安全なまちづくりをおこなう。

事業規模の方向性

事業内容の方向性

A 事業拡大 365日24時間の常備消防の義務として、消防体制に不具合を生じさ B B 現状維持 理由せないよう、消防車両や救命処置用資器材の整備や更新することが必 要である。 C 事業縮小

● 正成 21 年 使 油 質

●平成21年度次										
j.	歳出		歳入							
節 金額(千月	金額(千円)		項目	名称	金額(千円)					
	12	95		国庫支出金	緊急消防援助隊設備	12,130				
	18	29,044		府支出金						
	27	51	財	起債						
予算科目			源内訳	分担金•負担金						
				その他						
				一般財源		17,060				
事業費合計		29,190		合計		29,190				